



石川県済生会金沢病院 〒920-0353 金沢市赤土町二 13-6 TEL (076) 266-1060 FAX (076) 266-1070
E-mail saiseikh-s@saiseikaikanazawa.jp URL <https://saiseikaikanazawa.jp/>

地域に寄り添う済生会金沢病院の使命

—「済生会」×「地域密着型病院」＝「済生会金沢病院」の役割—



統括診療部長 代田 幸博

幸福でありたいという思いを、病院は医療を通じて支援します。幸福のあり方は人それぞれ異なることから、医師の考えだけではなく患者さんの思いに沿った医療を選んでいただくことが大切で、この手順を「共有意思決定支援(shared decision making)」と呼んでいます。看護師やソーシャルワーカーが患者さんの思いをお聞きし、その思いを擁護し代弁することを「アドボカシー(advocacy)」といいます。意思決定支援ではこのアドボカシーが重要な役割を果たします。ぜひみなさんの思いを伝えてください。

患者さんやご家族で将来の医療やケアの方針を共有していく「人生会議(advance care planning)」も重要です。共有する相手を決めることも大切で、ご家族に限らずご友人も参加できます(人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン)。心臓が止まった際に心肺蘇生は試みないで欲しいという思い(do not attempt resuscitation: DNAR)を確認しておくことは、尊厳を無視した延命医療を避けるために重要です。しかしこれはあくまで心停止時の選択肢であり、それ以外の医療を受けるかは個別に意思決定支援を受けていただきながら決めていくことが大切です。蘇生処置を受けないと決めたから、あるいはご高齢であることを理由に「何もしなくていい」、といった後ろ向きな選択は、患者さんやご家族の幸せにはつながりません。負担の大きな医療はかえって状態を悪くする、あるいは患者さんの尊厳を損なう可能性があることをご理解いただき、それらを行わない場合でも症状を和らげるなど「できる限りの手を尽くさせていただく」前向きな選択が大切で、患者さんが亡くなられた際にはそこにご家族の救いがあります。

「共有意思決定支援」はがん告知でも大切です。2人に1人ががんになる日本では日常的に告知が行われています。これは、がんを知った上で、少なからず負担のある治療に前向きに取り組んでいただく必要があるからです。しかし告知されたくないと思える方もおられます。この「知りたくない権利」を尊重しながら意思決定支援を受けていただき、納得いただいた上で告知を受け、治療に取り組んでいただくことが大切です。当院の医師が参加する会議では、こうした倫理に関する議論を積極的に行っています。

済生会の理念は「施薬救療の精神」です。設立以来、様々な理由で医療を受けられない方々に無料で医療と薬を提供し、誰もが医療を受けられるように支援しています。また新たに、社会から誰一人取り残さず、すべての人が社会で共に生きていく、「ソーシャルインクルージョン」のビジョンを掲げて活動を広げています。医療を受けられない人だけではなく、ご高齢の患者さんやがんを患っている患者さんを取り残すことなく、患者さんの思いに沿った医療・ケアを受けていただけるよう支援することは、ソーシャルインクルージョンの実現に他なりません。患者さんが住み慣れた地域で最後まで生活できるように支援する地域密着型病院としての役割を果たす上でも、ソーシャルインクルージョンは欠かせません。私たちは、「済生会」×「地域密着型病院」としての「済生会金沢病院」が地域の皆様の幸福を支える力を持っていると確信しています。

「カラダにイイコトはじめよう！」を開催しました

世界糖尿病デーである11月14日にあわせて、11月19日(火)、今年も糖尿病の予防や治療を啓発するイベント『カラダにイイコトはじめよう!』を開催しました。

『公開講座』では、内分泌代謝内科の藤本医師、整形外科の山城医師、野村管理栄養士より、それぞれの専門分野の視点から糖尿病と関わる内容のお話をしました。

毎年人気の『フットケアコーナー』では足のトラブルチェックや処置等を行いました。今年も、「靴&中敷きの必殺仕事人」こと高浪さんに来て頂き、靴の相談も受け付けました。

『血糖測定コーナー』では、測定結果をシールで表に貼り、自分の数値がどのくらいなのか、また他の測定者の方々と比べるとどうなのか一目で分かるようにしました。

『健康測定コーナー』では、体組成計、血管年齢計、肌年齢計を準備し、たくさんの方が測定したいと順番待ちをしておられました。

『身体機能チェック』では、リハビリスタッフがロコモ度テスト(下肢筋力を調べる「立ち上がりテスト」、歩幅を調べる「2ステップテスト」)を行い、結果を見てその人に合ったパンフレットをお渡ししました。

参加者に楽しみながら多くのコーナーを回っていただけるよう『スタンプラリー』も実施し、スタンプ3つ以上で貰える健康応援セット(減塩・糖質0食品など)も準備しました。他にも『糖尿病関連の食品紹介』『医療福祉相談会』のコーナーも設けました。

たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。糖尿病やご自身の健康について知り、考える機会になれば幸いです。



公開講座

「糖尿病と足変形」整形外科 山城医師



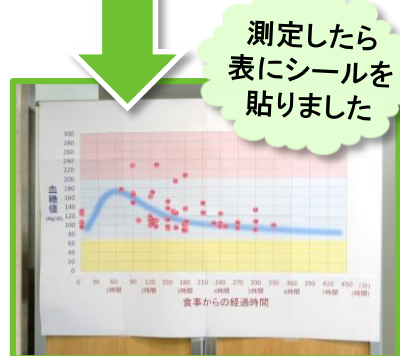
血糖測定コーナー



フットケアコーナー



健康測定コーナー



測定したら表にシールを貼りました

クリスマスコンサートを開催しました

12月13日(金)、エントランスホールにて、クリスマスコンサートを開催しました。

前半は、当院の職員で結成されたゴスペル合唱団『SKHゴスペルクワイヤー』が「上を向いて歩こう」「Home(珠洲復興応援ソング)」を歌いました。20人の情熱を込めた歌声がエントランスに響き渡り、歌や動きに合わせて患者さんも皆で手拍子をしました。

後半は、昨年のクリスマスコンサートを盛り上げてくれた『SKE(済生会金沢アンサンブル)』が、クリスマスメドレー・演歌メドレー・ディズニーメドレーを演奏しました。こちらも当院の職員で結成されたバンドで、馴染みのある曲の数々に、患者さんは体を揺らしながら聴き入っておられました。アンコールも沸き上がり、楽しいコンサートとなりました。

SKHゴスペルクワイヤー



SKE(済生会金沢アンサンブル)



登録医のご紹介



おりた内科クリニック
おなかとカメラと糖尿病 金沢院
ORITA INTERNAL MEDICINE CLINIC

住所：〒921-8801
石川県野々市市御経塚1丁目445

TEL：076-227-8110

診療科名：内科、消化器内科、内視鏡内科、
膵臓内科、糖尿病内科、内分泌内科



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~18:00	●	●	訪問診療	●	●	/
9:00~16:00	/	/	のみ	/	/	●

休診日・・・日曜、祝日



副院長
織田 友希菜 先生

院長
織田 典明 先生

2024年10月1日に野々市市御経塚、JR野々市駅前前で新規開院しました総合内科クリニックです。消化器内科・内視鏡・膵臓の専門医である院長・織田典明と糖尿病・生活習慣病の専門医である副院長・織田友希菜の2人主治医制で、生活習慣病の管理から胃・大腸癌・膵臓癌などの消化器癌の定期検査、心筋梗塞・脳梗塞などの動脈硬化の合併症検査まで一貫して管理を行い、安心して定期通院していただけるクリニックを目指しています。どうぞお気軽に御相談ください。